



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>



済生会

わかやま

NEWS

第36号

発行日: 2018.2



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

済生会和歌山病院 院長 松崎 交作



～ 平成30年(2018年)、増築棟の完成、そして開院70周年に向けて ～

新年明けましておめでとうございます。

私ども、済生会和歌山病院は、終戦後の昭和23年5月、和歌山市手平に僅か6診療科37床の規模で開院し、今年で70周年を迎えることになりました。70年は人生で言えば、古希にあたります。人生には終わりがありますが、病院には終わりはありません。スタッフが入れ替わっても、病院は継続していかなければなりません。とくに和歌山県では、高齢化社会が進んでおり、地域には急性期医療を担う二次医療機関が不可欠であります。現在の建物は和歌山医大附属病院の別館として建てられたものですが、1998年には和歌山医大は、和歌山市紀三井寺に統合移転しました。その後当院が別館に移転し、16年が経過しました。現在は、16診療科、常勤医師27名、パート勤務医19名の規模になっています。

今、当院は40床の回復期リハビリ病棟を含む200床の急性期病院として二次救急を担っています。しかし、院内全体の手狭感と建物の老朽化が認められ急性期病院としての責務を全うすべく、建物の増改築を決定しました。今年2018年に、既存棟も含めた増改築工事が完成します。増築部分は約500坪、鉄骨造りの3階建てです。これにより患者さんには、満足のいく治療が受けやすく、また職員には、さらに働きやすい職場の環境が完成します。

当院は全国の済生会病院の一員として、施薬救療を行い、済生の道を広める使命があります。それには経営の健全化が必須です。病院経営の健全化には、三つの要素があります。まず第1は、病院を支える人材の育成。第2は、施設、設備の近代化を促進。第3は、実践的な病院経営の研究、開発。そして最終的には地域から愛される済生会和歌山病院を作っていくことが、目標であります。

今年も職員一同がチームワークを発揮して、そして一歩先を見据えていきたいと思っております。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

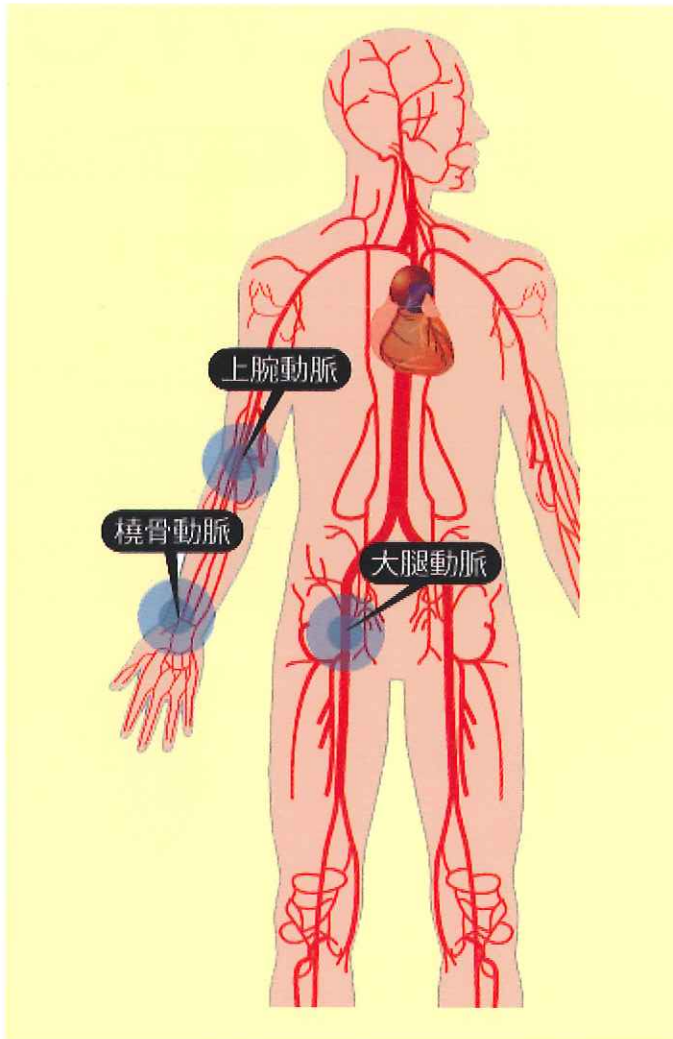
～ Topics ～ 心臓血管外科より

日頃より支援を賜りますよう心よりお礼を申し上げます。
当科では、末梢血管をキーワードに全身の脈管疾患を包括的に管理治療していく“Total Vascular Care”を実践しています。



心臓血管外科 部長 畑田 充俊

好きな食べ物: ケーキ
趣味: 子供と遊ぶ事

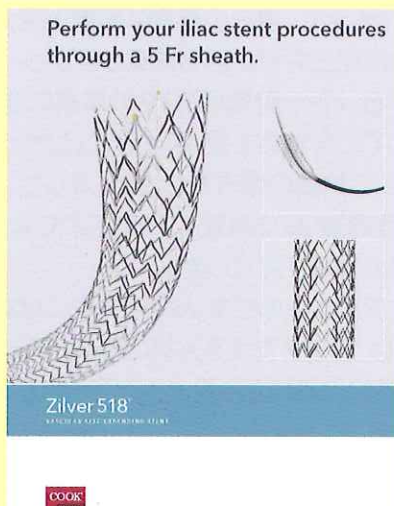


慢性閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤を主体としてカテーテル治療から外科的治療、創部の処置含めて行ってきました。

近年、高齢化や認知症患者さんの増加によりカテーテル治療でもより低侵襲な治療が必要となってきております。特に認知症合併の方では術後安静を保つことが出来ない場合が多くなってきております。大腿動脈穿刺後は圧迫止血のために数時間の安静が必要となりますが、認知症合併の方では安静困難な場合があります。

従来、ステント留置のためには、6Fr以上の太さのシースが必要でした。最近では、小口径のシース(5Fr)で留置可能なステントが発売され、橈骨動脈からのアプローチも可能となりました(左図)。橈骨動脈アプローチの利点としては、①術後安静が不要、②穿刺後のトラブルが少ない、があります。

5Frシースでの留置可能なステントは、Cook社製のZilver518とMedtronic社製のEverFlexの2つがあります(左図/下図)。



EverFlex Self-expanding Peripheral Stent with Entrust Delivery System

Deliver the same, trusted EverFlex stent with the ease of single handed deployment when choosing the EverFlex™ self-expanding peripheral stent with Entrust™ delivery system to treat PAD in the SFA, proximal popliteal, and common or external iliac arteries. The system's low profile (5 F), triaxial design reduces friction during deployment, which allows for increased accuracy and more predictable stent placement.



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成30年2月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	河野 尚宏	川口 雅功
		河野 尚宏	—	川口 雅功	—	—
	糖尿病代謝内科	—	—	—	応援医師	—
		山本昇平	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	—	—	—	大鹿 裕之	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	橋本 晶子	橋本 晶子	
脳神経外科	田中 禎之	田中 禎之	仲 寛	仲 寛	▲林 靖二山家弘雄	
	三木潤一郎	—	廣緒 洋子	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	奥 あや	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	畑田 充俊	—	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	太地 良	中村 憲太	新患診	松崎 交作	岡田 紗枝	
	岡田 紗枝	山崎 悟		山崎 悟	中村 憲太	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	担当医	担当医	医大応援医師	担当医	担当医	
耳鼻咽喉科	中嶋 宏児	—	グンデウス メーメット	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	医大応援医師	医大応援医師	—	医大応援医師	医大応援医師	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	上野 駿	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科）8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

※腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。

※月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。

※水曜日はストーマ外来を実施しています。

（予約制・初診の方は紹介状が必要です）

▲金曜日の脳神経外科は毎月第2週目のみ山家先生に診察医が替ります。

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。

ご紹介の際は患者さんの待ち時間短縮の為に、ご予約をお取り下さいますようお願いいたします。



診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187